

決算説明資料

2027年3月期 第1四半期

2026年7月28日

Securities Code 4290

40th

Prestige International Inc.



 **PRESTIGE** INTERNATIONAL



価格転嫁と効率化の 同時実現

- 人手不足や物価上昇という逆風の中で、デジタル活用と委託料改定によってコストを吸収し、利益率を高める収益構造が定着

機動的な拠点展開

- 2026年8月稼働予定の「秋田BPO潟上キャンパス」の開設準備など、BPOサービスの更なる体制強化が順調に進捗

株主還元の充実

- 2026年7月28日に約10億円分（予定）の自己株式取得と、創業40周年を記念した株主優待の実施を発表

- 2027年3月期 第1四半期 決算サマリー
- 2027年3月期 第1四半期 事業別業績サマリー
- Appendix



■ 2027年3月期 第1四半期 決算サマリー

40th

Prestige International Inc.



2027年 3 月期 第 1 四半期 連結業績サマリー

(百万円)

表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

	FY2026.3 Q1	FY2027.3 Q1	YoY (%)	通期予想	vs.通期予想 進捗率
売上高	16,723	18,173	1,449 (8.7%)	76,000	23.9%
営業利益	1,934	2,271	336 (17.4%)	9,600	23.7%
経常利益	2,012	2,352	340 (16.9%)	9,930	23.7%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,013	1,173	160 (15.9%)	5,920	19.8%

- 売上高

既存業務の拡大や新規顧客の獲得、委託料改定の進展により、主力事業を中心にほぼ全ての事業で増収。
- 営業利益

人件費や外注費の上昇を委託料改定等で吸収し、オートモーティブ事業や金融保証の成長により増益。
- 経常利益

本業の営業増益に加え、為替差益44百万円の発生等が持分法投資損失をカバーし前年同期比16.9%増。

2027年 3 月期 第 1 四半期 連結損益計算書

(百万円)

表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

	FY2026.3 Q1	FY2027.3 Q1	増減	YoY (%)
売上高	16,723	18,173	1,449	8.7%
売上原価	13,257	14,244	987	7.4%
売上総利益	3,466	3,928	462	13.3%
売上総利益率	20.7%	21.6%	0.9pt	—
販売費及び一般管理費	1,531	1,657	125	8.2%
営業利益	1,934	2,271	336	17.4%
営業利益率	11.6%	12.5%	0.9pt	—
経常利益	2,012	2,352	340	16.9%
経常利益率	12.0%	12.9%	0.9pt	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,013	1,173	160	15.9%

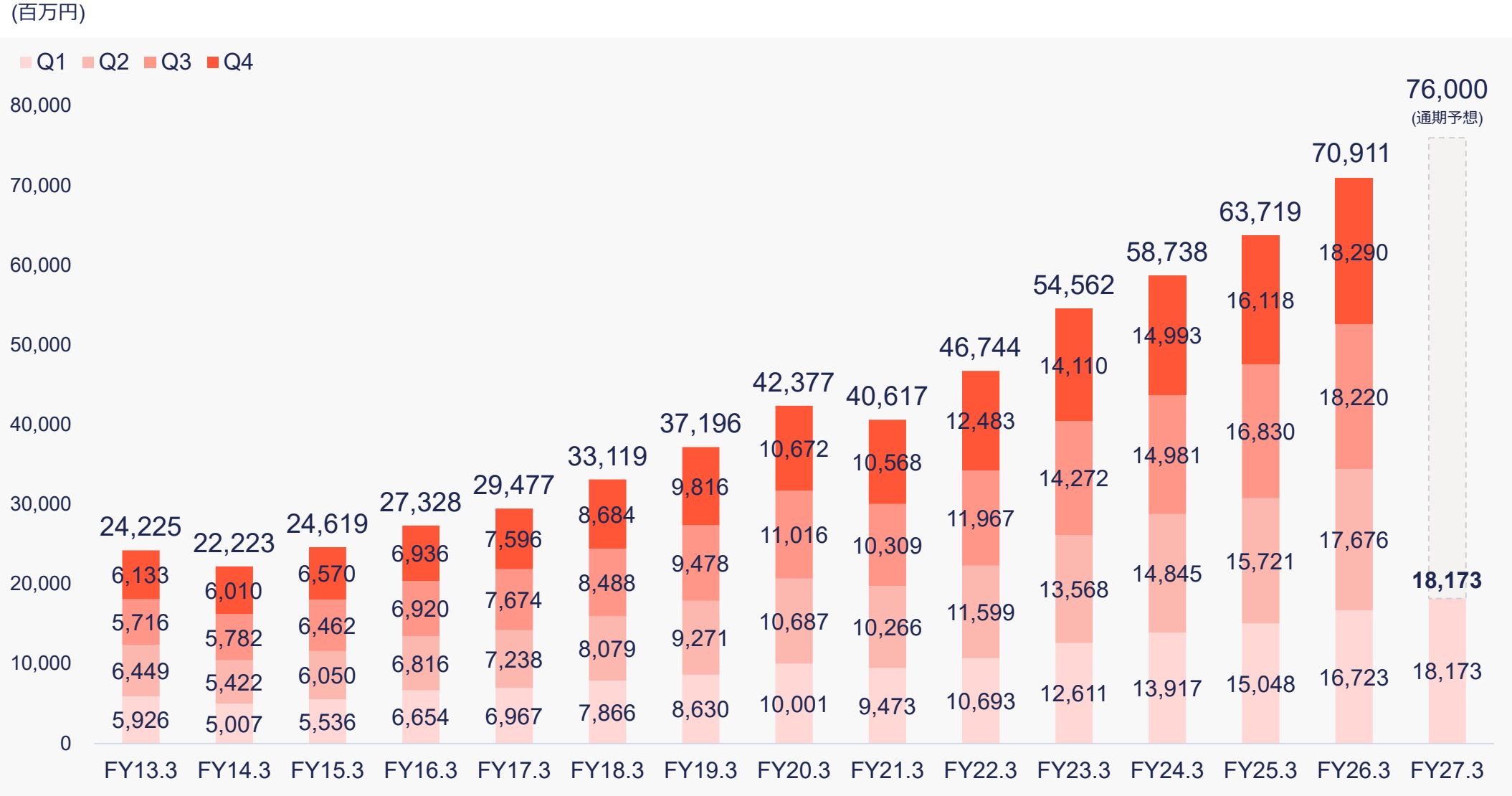
2027年 3 月期 第 1 四半期 連結貸借対照表

(百万円)

表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

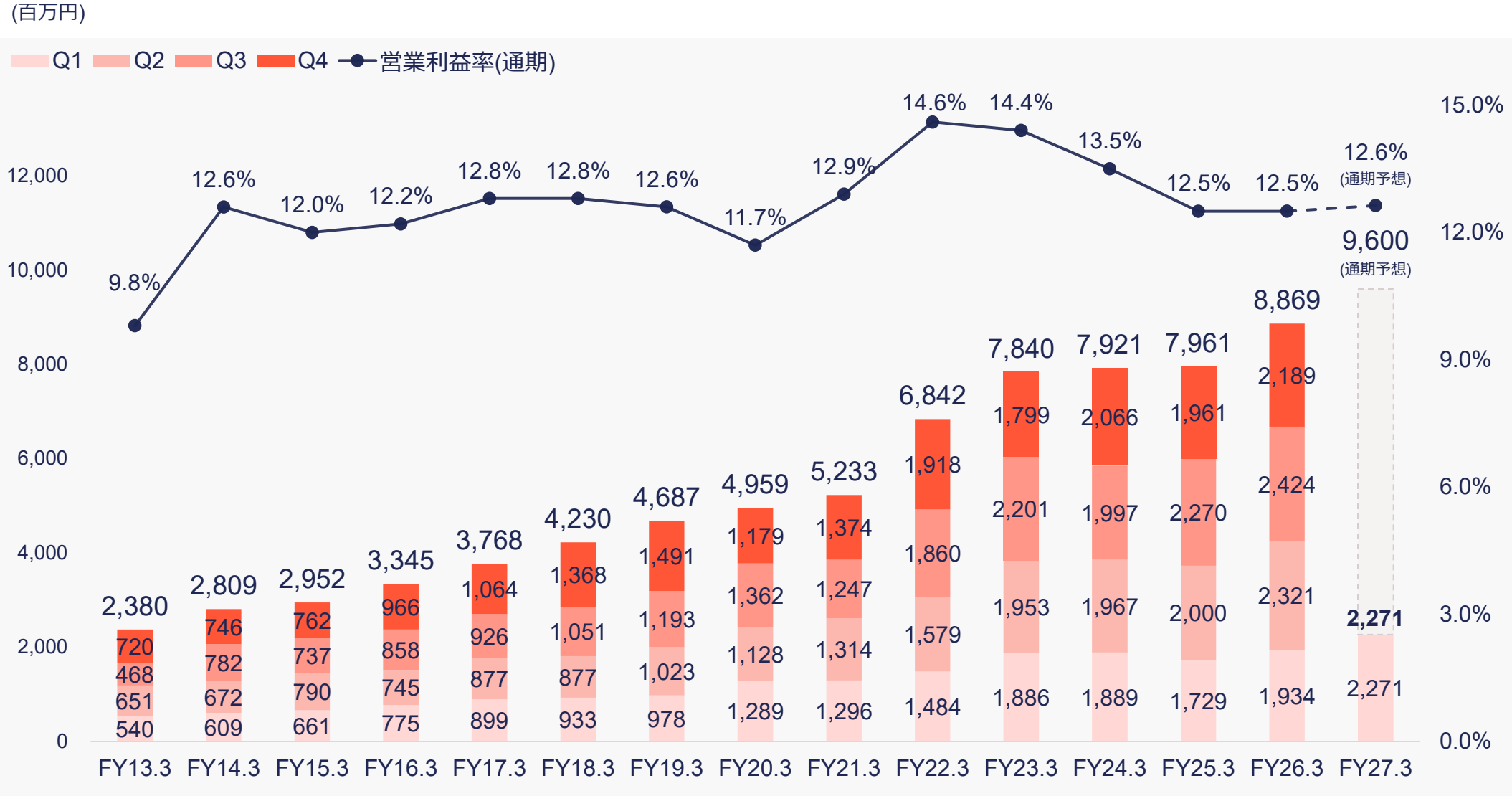
	2026年 3 月末	2026年 6 月末	増減	増減(%)
流動資産	46,629	49,123	2,493	5.3%
固定資産	35,614	35,176	△438	△1.2%
資産合計	82,244	84,299	2,055	2.5%
流動負債	26,826	28,370	1,544	5.8%
固定負債	2,931	3,147	216	7.4%
負債合計	29,757	31,518	1,760	5.9%
株主資本	44,135	43,945	△189	△0.4%
その他の包括利益累計額	4,227	4,543	316	7.5%
非支配株主持分等	4,124	4,291	167	4.1%
純資産合計	52,486	52,781	294	0.6%
負債純資産合計	82,244	84,299	2,055	2.5%

四半期売上高推移



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

四半期営業利益推移



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。



2027年 3 月期 第 1 四半期 事業別業績サマリー

(百万円)

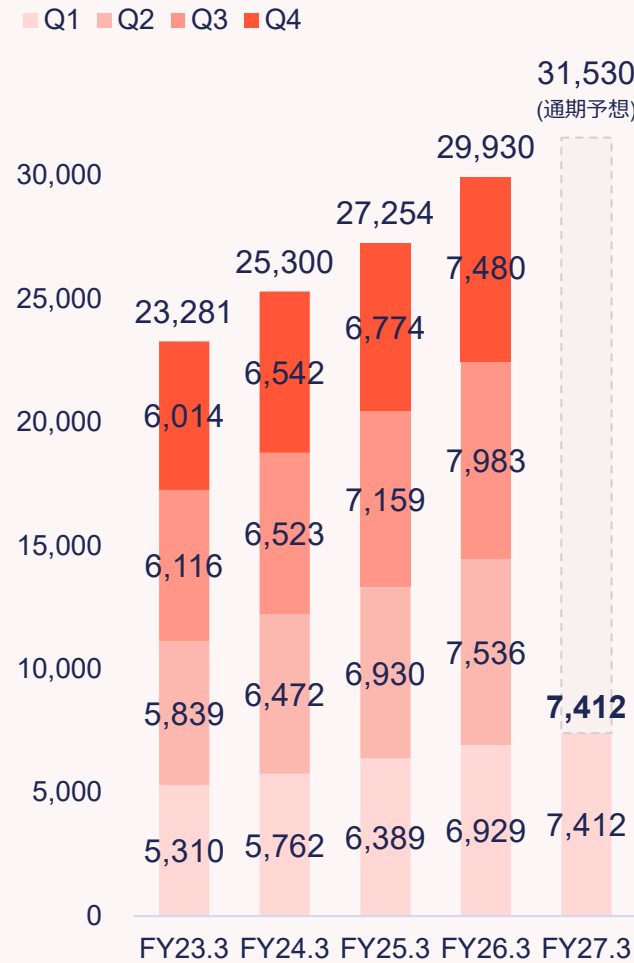
表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

	FY2027.3 Q1 売上高	YoY (%)	vs.通期予想 進捗率	FY2027.3 Q1 営業利益	YoY (%)	vs.通期予想 進捗率
 オートモーティブ	7,412	482 7.0%	23.5%	779	109 16.4%	21.1%
 プロパティ	2,605	249 10.6%	24.6%	226	78 53.5%	25.2%
 グローバル	2,632	173 7.1%	23.9%	384	91 31.0%	28.5%
 カスタマー	1,632	△38 △2.3%	24.3%	245	0 0.3%	22.9%
 金融保証	3,455	573 19.9%	24.3%	772	112 17.1%	25.8%
 IT	231	△16 △6.5%	27.2%	7	△28 △78.5%	6.0%
 ソーシャル	203	25 14.0%	18.5%	△125	△7 —	—
全社・消去	—	—	—	△19	—	—
合計	18,173	1,449 8.7%	23.9%	2,271	336 17.4%	23.7%

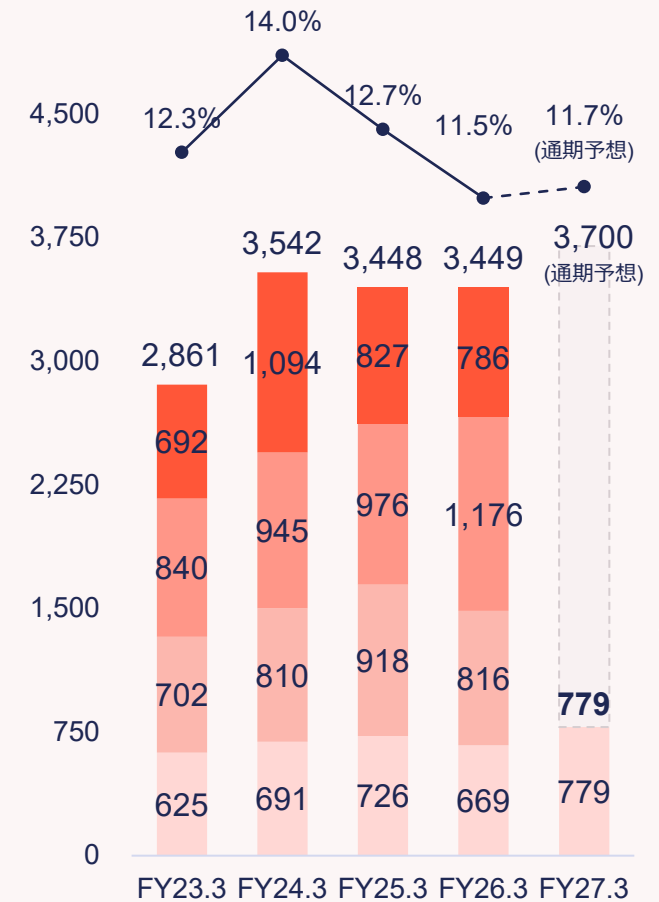
FY2027.3 Q1			
売上高	7,412	百万円	
YoY		7.0%	
営業利益	779	百万円	
YoY		16.4%	

- 一部のダイレクト系自動車保険会社の契約台数の増加や、既存クライアント企業の業務拡大、及び新規事業が順調に推移したことにより増収。
- 前期に支払い単価を引き上げた協力会社への外注費が上昇したものの、クライアント企業に対するの委託料改定や新規事業開始の効果により、増益。

売上高



営業利益・営業利益率

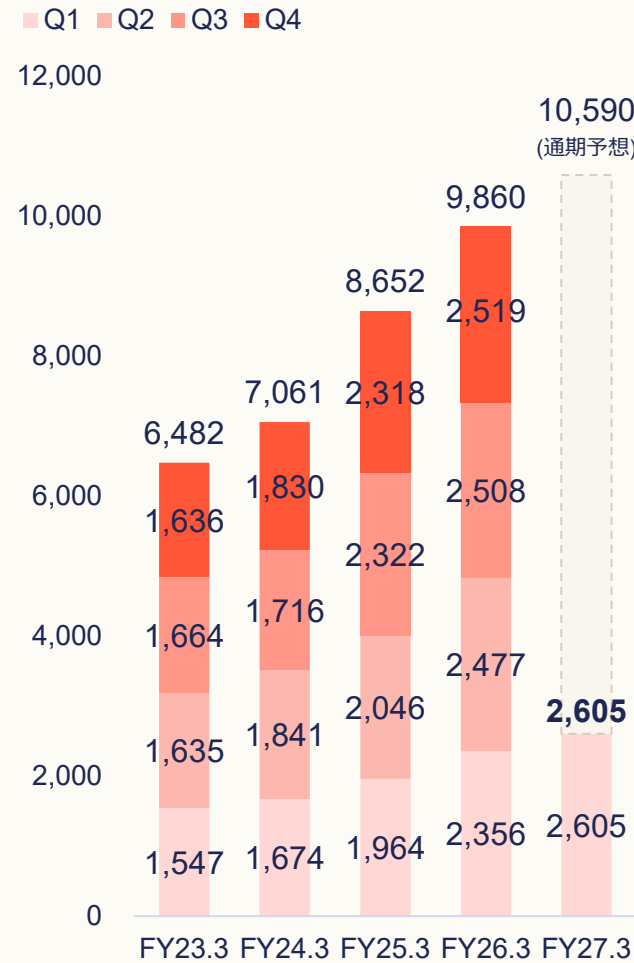


表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

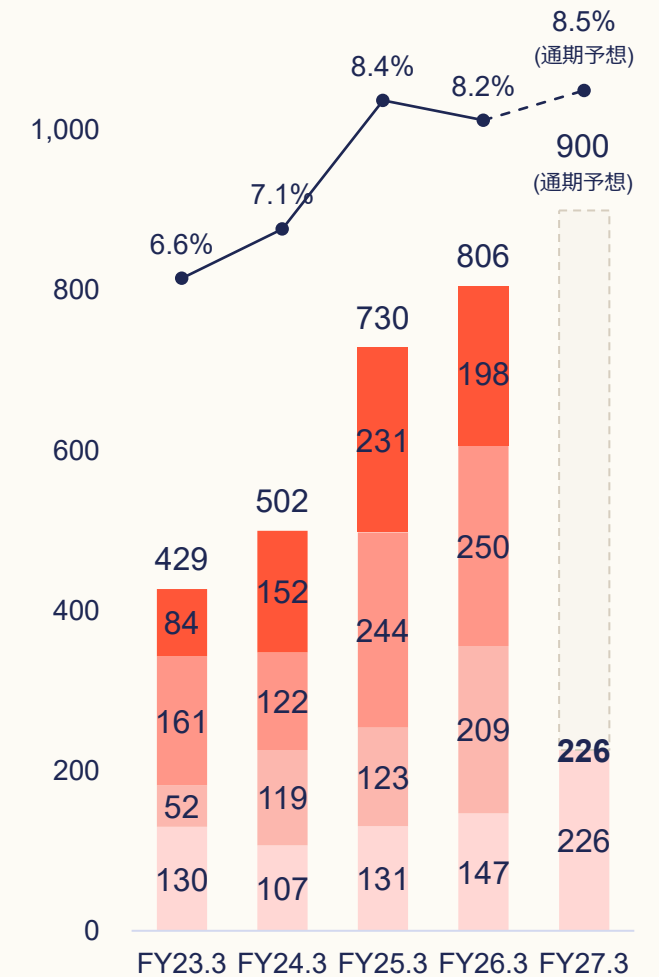
FY2027.3 Q1		
売上高	2,605	百万円
YoY	10.6%	
営業利益	226	百万円
YoY	53.5%	

- ホームアシストにおける賃貸住宅向け駆けつけサービスの対象賃貸戸数の増加、及び既存クライアント企業の業務拡大により増収。
- 前期より行っていたパークアシスト事業でのクライアント企業への委託料交渉がまとまり、今期より収益が改善したことにより、全体としても増益。

売上高



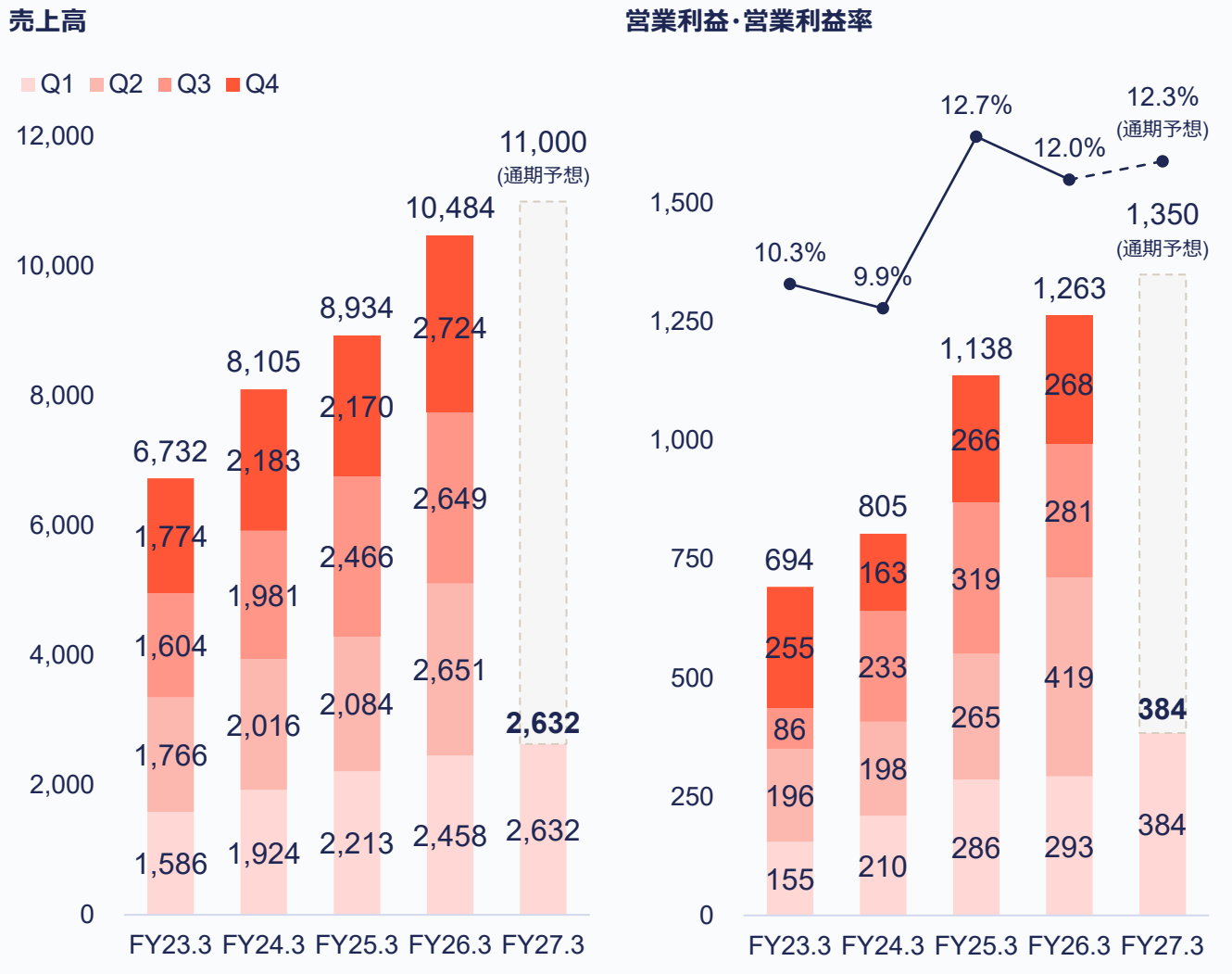
営業利益・営業利益率



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

FY2027.3 Q1			
売上高	2,632	百万円	
YoY		7.1%	
営業利益	384	百万円	
YoY		31.0%	

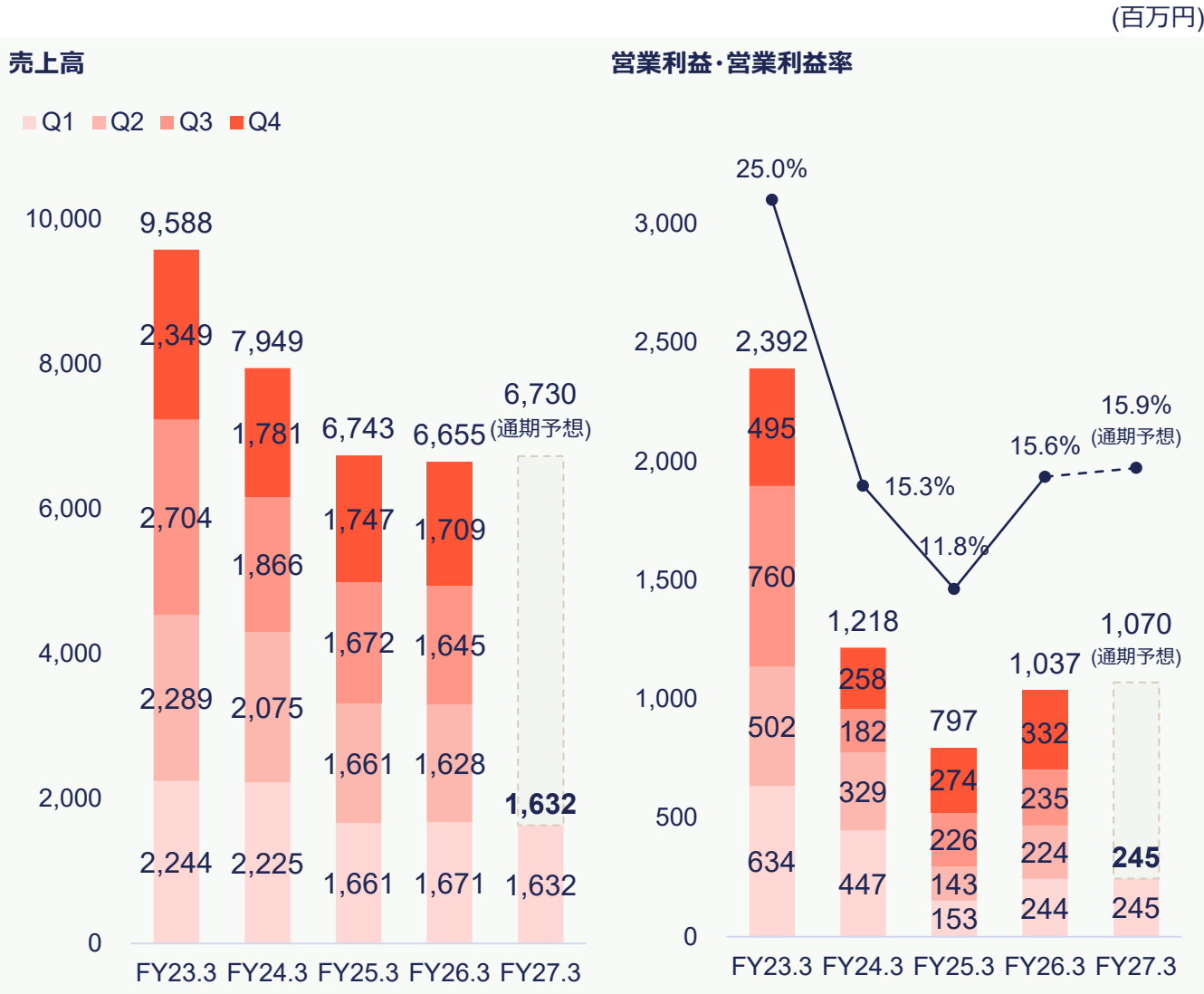
- 主力のヘルスケアプログラムの新規クライアント企業の獲得が堅調に拡大したことに加え、米国での日本人駐在員向け現地発行クレジットカードの会員数も伸長し売上に寄与。
- ヘルスケアプログラムの売上増加と共に、ドル決済の米国クレジットカードによる円安ドル高の影響もあり、増益。



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

FY2027.3 Q1			
売上高	1,632	百万円	
YoY		△2.3%	
営業利益	245	百万円	
YoY		0.3%	

■ カスタマー事業における既存クライアント企業の取捨選択も一巡し、売上利益ともに前年同期比と同水準で推移。

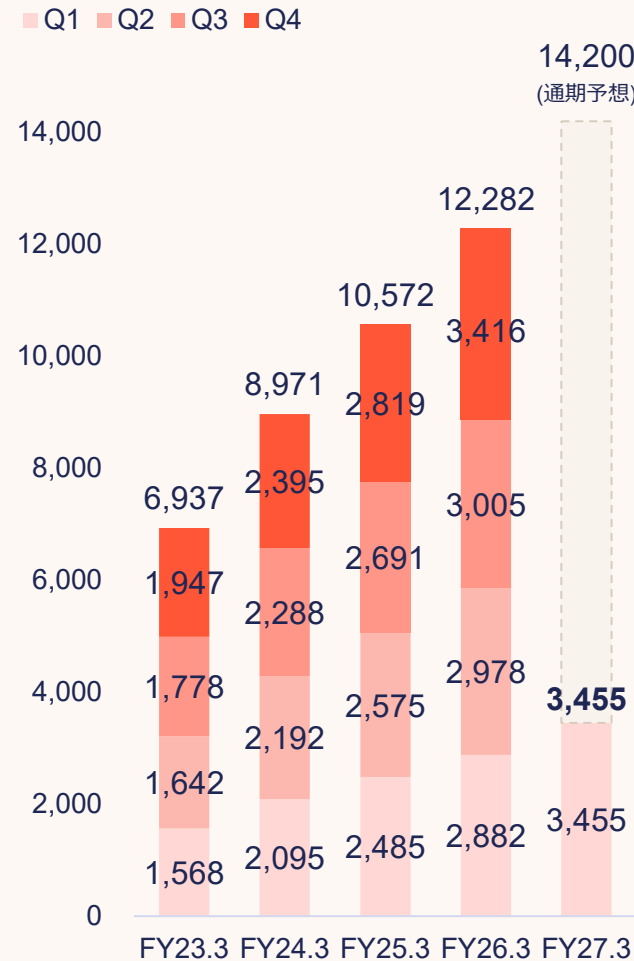


表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

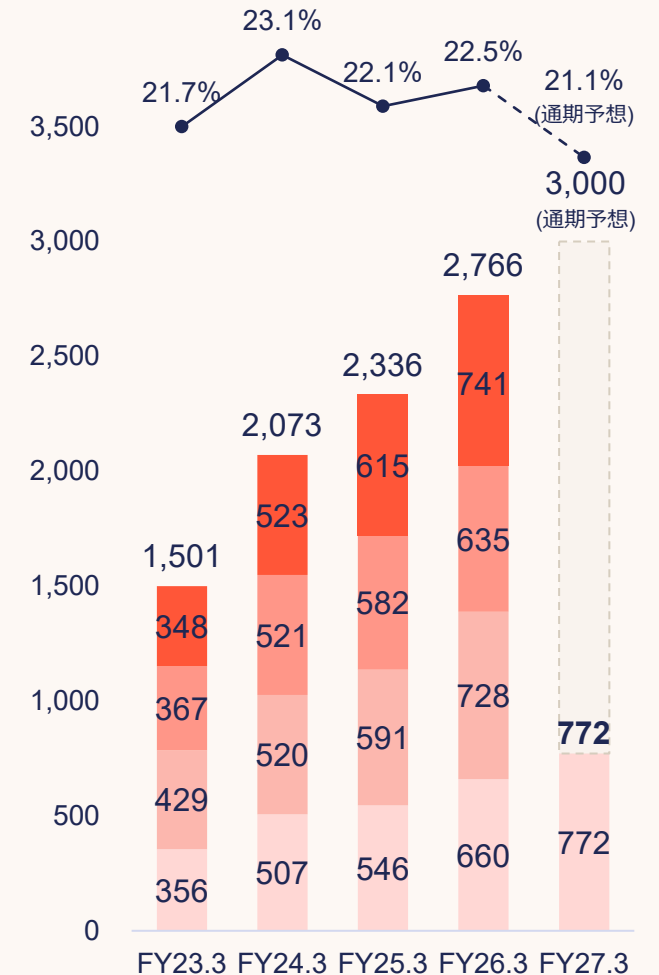
FY2027.3 Q1			
売上高	3,455	百万円	
YoY	19.9%		
営業利益	772	百万円	
YoY	17.1%		

- グループ会社の株式会社イントラスト（証券コード：7191）が展開する家賃債務保証事業の契約件数が引き続き好調に推移したことに加え、医療費用保証事業と介護費用保証事業についても順調に契約数が伸長。また、前期に連結子会社化したキャロルシステム株式会社も貢献し増収。
- 増収に伴い各種業務委託手数料等が増加したものの、貸倒費用が安定的に推移するなど、その他の費用増加を一定水準に抑制できたことにより増益。

売上高

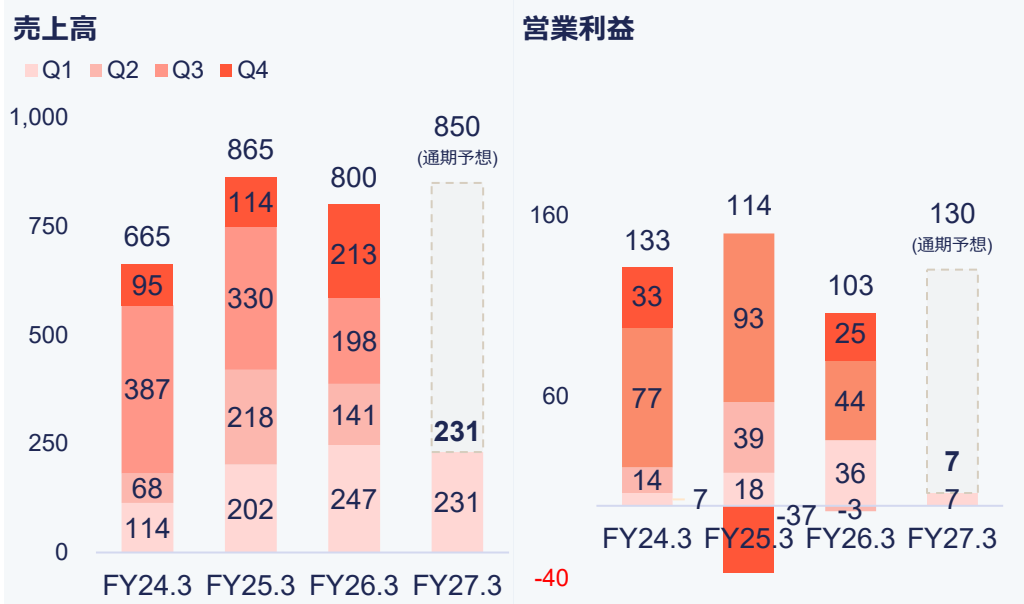


営業利益・営業利益率



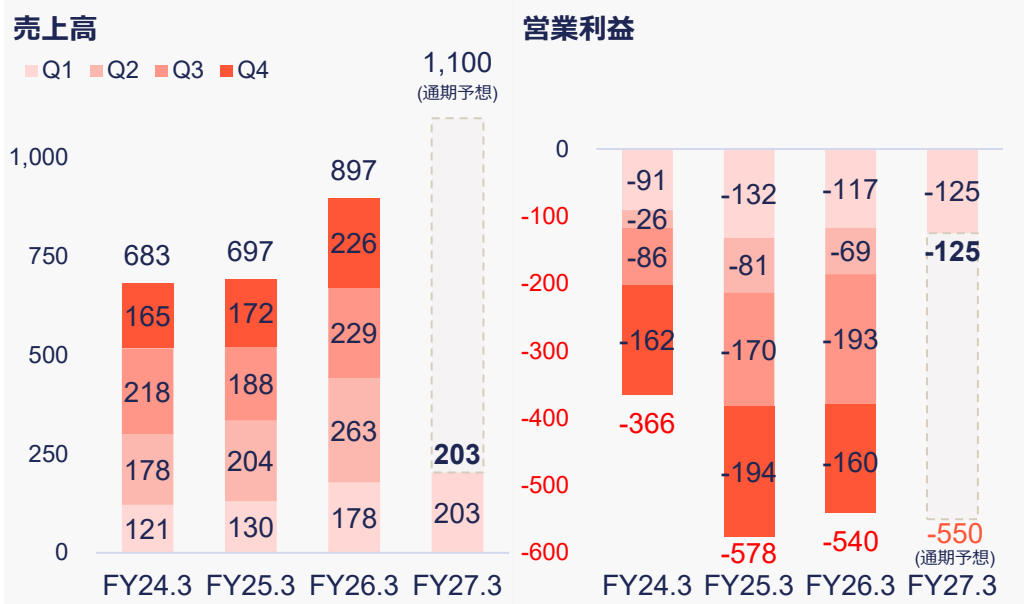
表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

IT事業		(百万円)
FY2027.3 Q1		YoY
売上高	231 百万円	△6.5%
営業利益	7 百万円	△78.5%



■ システム開発に関わるエンジニアへの先行投資により、減収減益。

ソーシャル事業		(百万円)
FY2027.3 Q1		YoY
売上高	203 百万円	14.0%
営業利益	△125 百万円	—

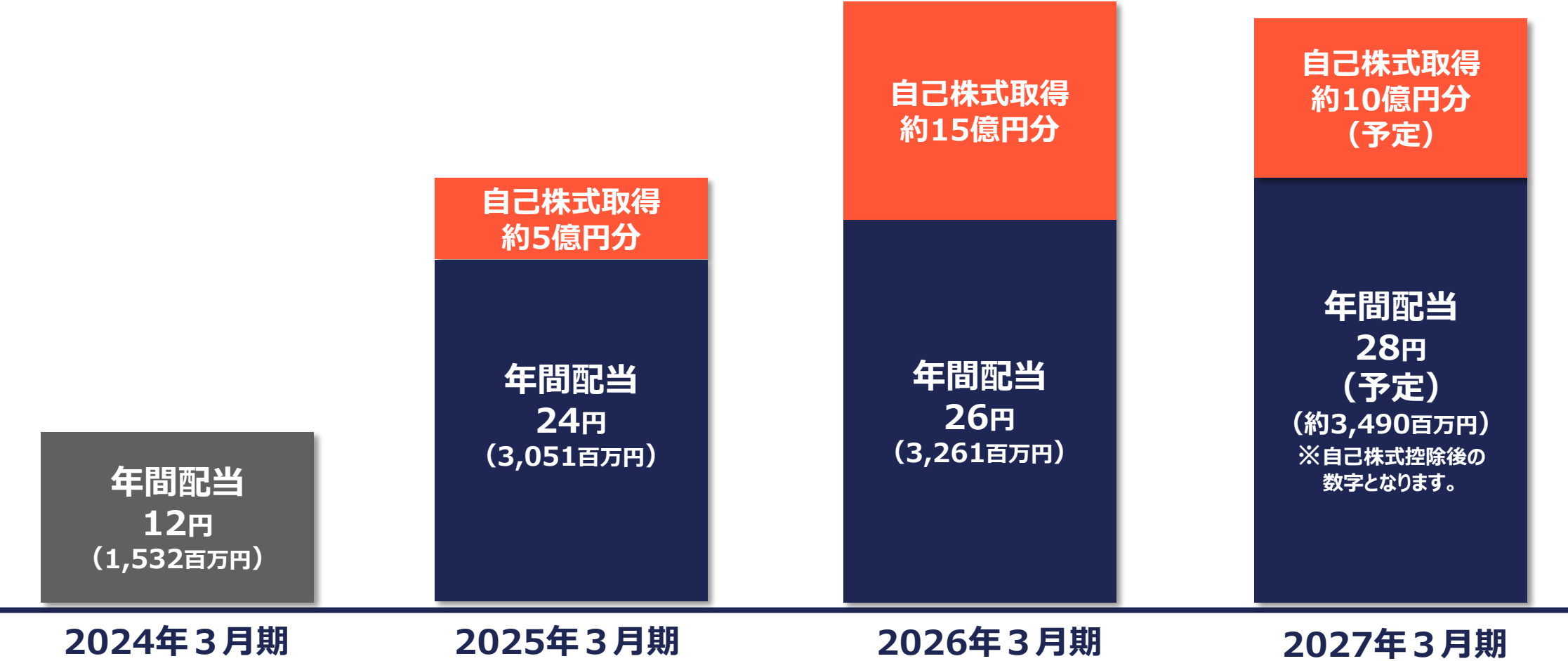


- 女子スポーツチーム「アランマーレ」の認知度向上によるスポンサー収入の増加により増収。
- スポーツ事業における体制・戦力強化を目的とした人件費の増加などがあり減益。

表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

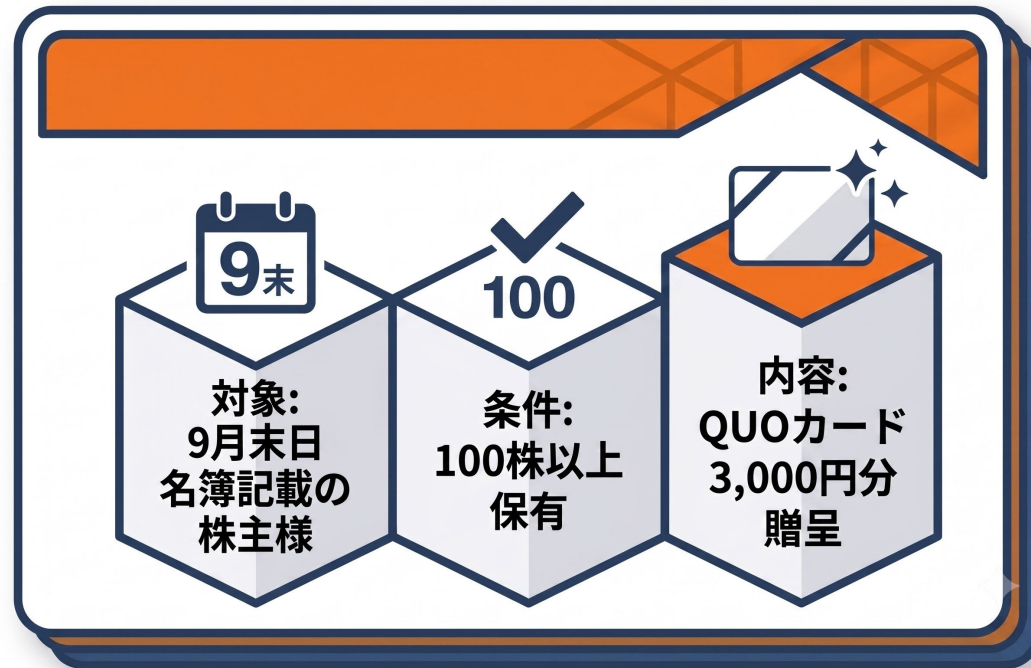
「総額130億円還元」の達成へ

2026年7月28日にリリースした「10億円の自己株取得（予定）」による資本効率の向上により、
私たちがコミットした第8次中期経営計画の目標は概ね近い数字で着地する見込みです。



【特別還元】 新たな記念株主優待（QUOカード3,000円分）の決定

日頃の株主の皆様からのご支援に感謝し、当社創業40周年を記念した株主優待の実施を決定いたしました。



配当金 + 通常株主優待（QUOカード） + 記念株主優待 3,000円（QUOカード） = 総合利回りが劇的に向上

QUOカードは、株式会社クオカードの登録商標です。

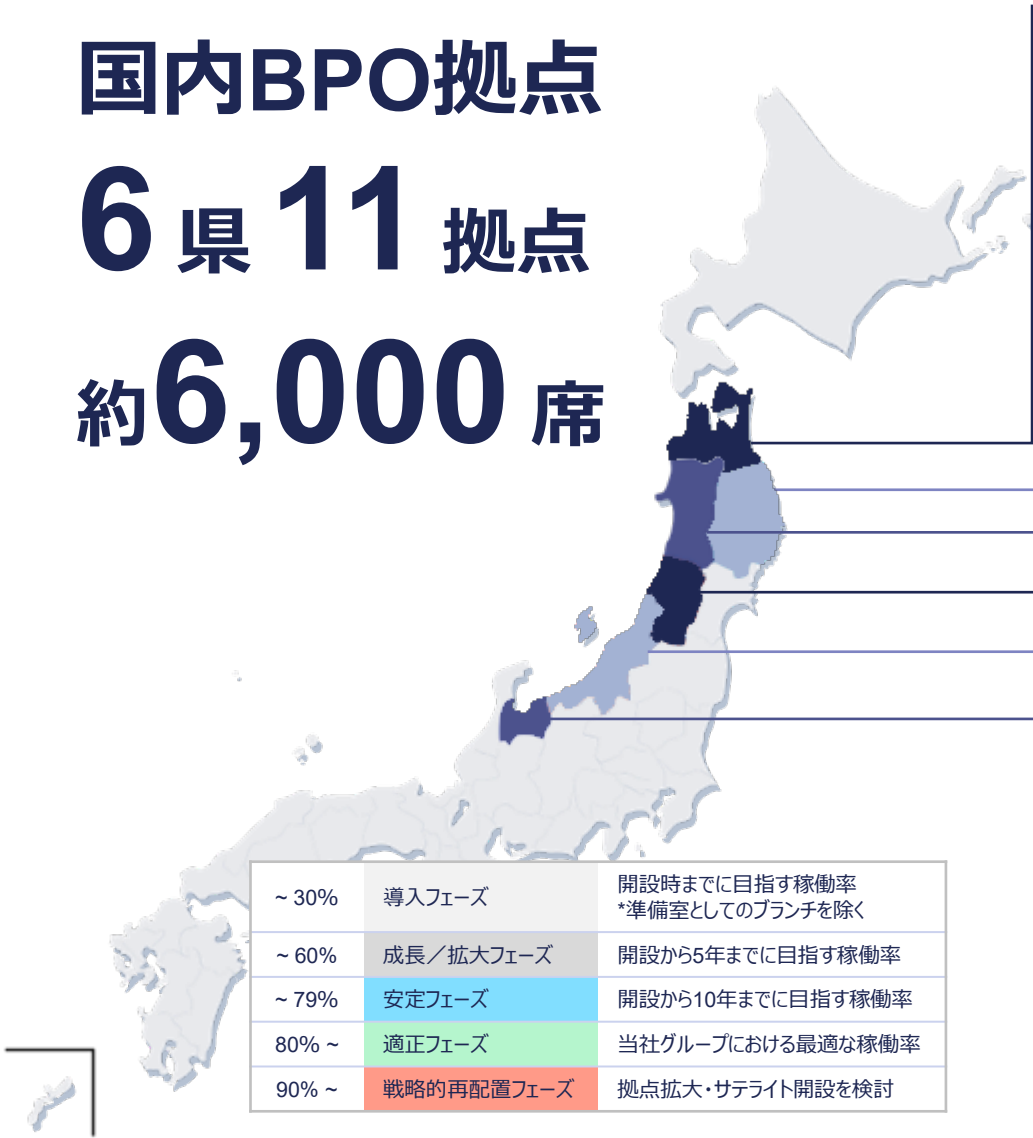
Appendix

40th

Prestige International Inc.



国内BPO拠点
6県 11 拠点
約6,000 席



青森県

- 青森BPO三沢ブランチ 設立:2025 席数:約100席

岩手県

- 岩手BPOフォートレス 設立:2024 席数:約500席

秋田県

- 秋田BPOメインキャンパス 設立:2003 席数:約1,500席
- 秋田BPO横手キャンパス 設立:2019 席数:約500席
- 秋田BPOにかほキャンパス 設立:2022 席数:約500席
- 秋田BPO潟上ブランチ * 設立:2023 席数:約300席
- 秋田BPO大仙ブランチ 設立:2024 席数:約100席

山形県

- 山形BPOパーク 設立:2013 席数:約1,000席
- 山形BPOパーク鶴岡ブランチ 設立:2018 席数:約150席

新潟県

- 新潟BPO魚沼テラス 設立:2019 席数:約250席

富山県

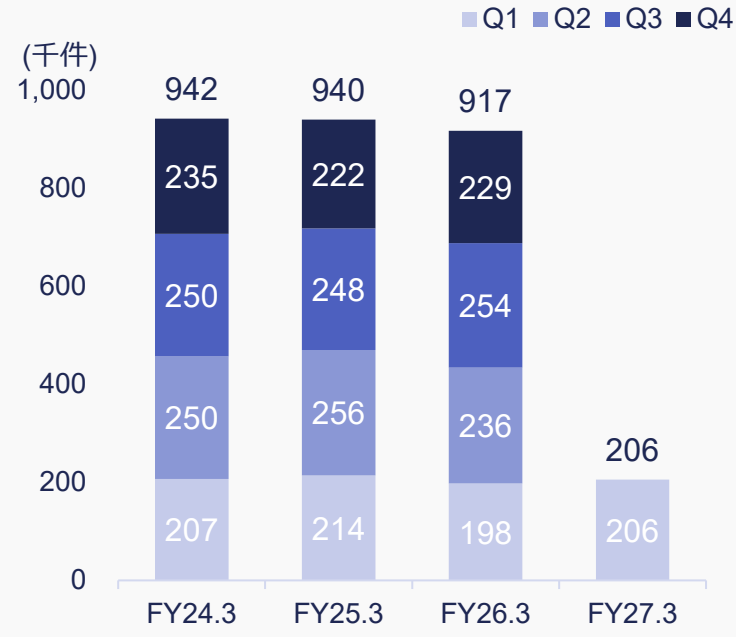
- 富山BPOタウン 設立:2015 席数:約1,100席

* 秋田BPO潟上ブランチは2026年8月に秋田BPO潟上キャンパスとして開設予定。

FY2027.3 | Q1

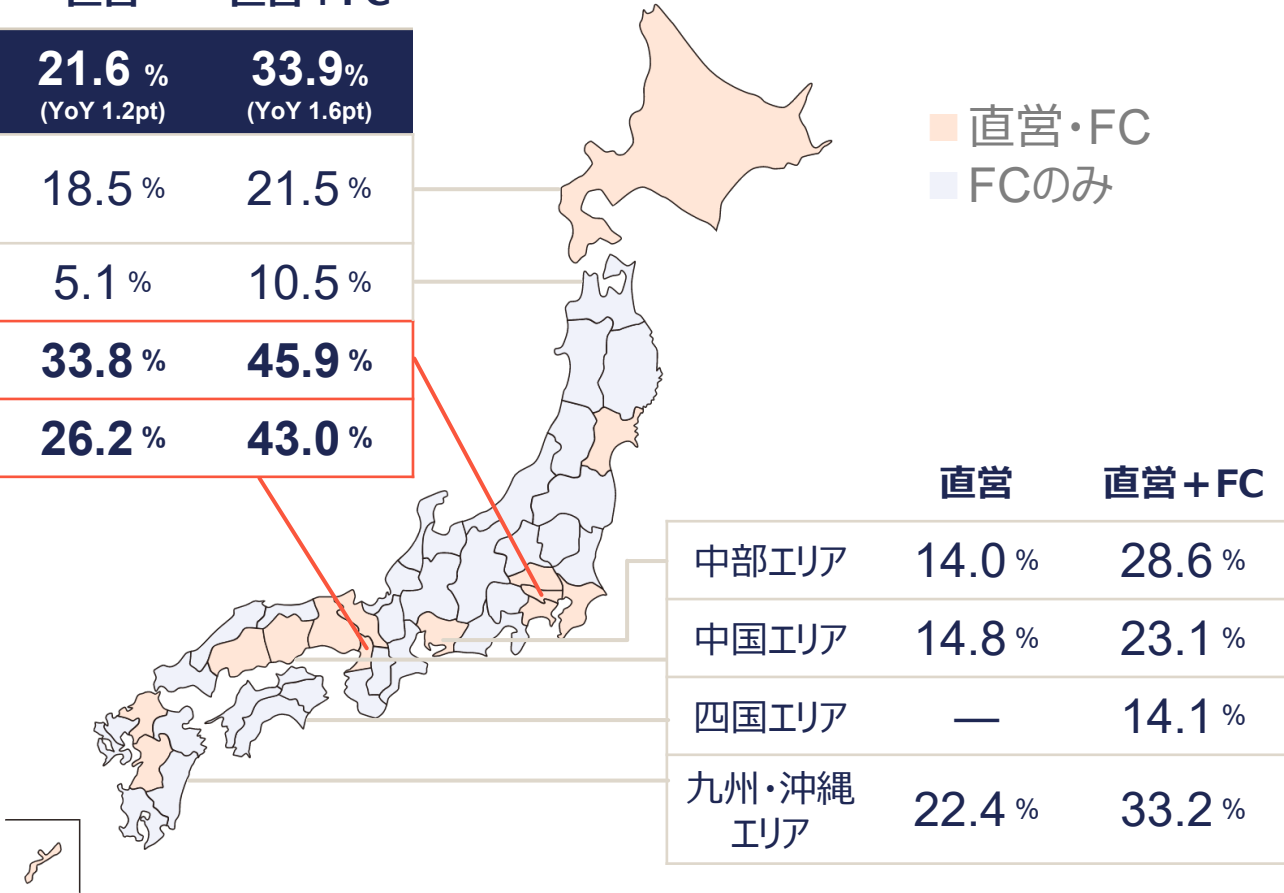
手配件数 **206,854** 件
YoY **4.2%**

ワンストップ手配件数推移



PREMIER Assist 直営及びフランチャイズ(FC)出動割合

	直営	直営 + FC
全国	21.6 % (YoY 1.2pt)	33.9 % (YoY 1.6pt)
北海道エリア	18.5 %	21.5 %
東北エリア	5.1 %	10.5 %
関東エリア	33.8 %	45.9 %
近畿エリア	26.2 %	43.0 %



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

PREMIER Assist ロードアシスト	FY2024.3	FY2025.3	FY2026.3	FY2027.3 Q1	FY2027.3 (計画)
PREMIER Assist 直営拠点数	34	33	36	36	40
PREMIER Assist FC加盟社数	107	116	121	122	129
うちEV用ポータブル充電器配備社数	73	84	85	85	85
PREMIER Assist 直営拠点人員数	278	309	364	383	415
PREMIER Assist 直営保有車両数	236	276	303	306	344
レッカー車	68	75	80	82	99
うちEV給電可能なレッカー車	56	62	62	62	62
積載車	79	96	106	105	128
サービスカー	85	102	115	117	115
特車(バイク専用車両)	0	0	0	0	0
バイク	4	3	2	2	2

FY2027.3 | Q1

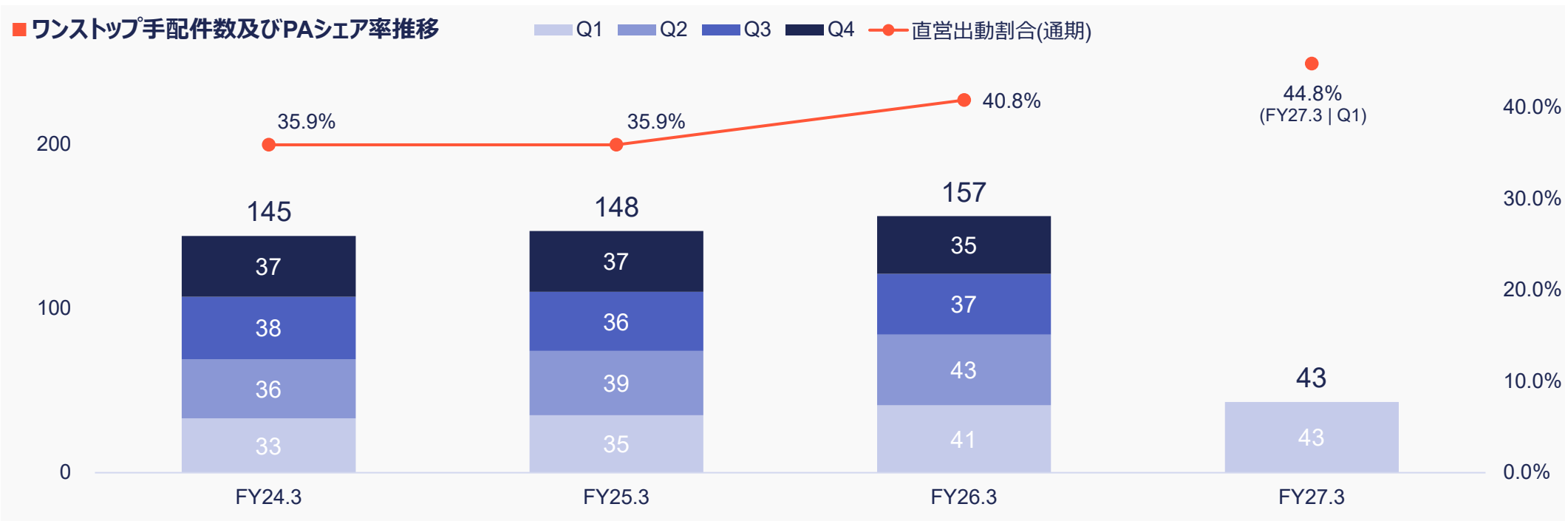
手配件数

43,188 件

YoY

4.9%

PREMIER Assist ホームアシスト	FY24.3	FY25.3	FY26.3	FY27.3 Q1	FY27.3 (計画)
拠点数	14	16	16	16	17
人員数	141	157	163	171	191



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

FY2027.3 | Q1

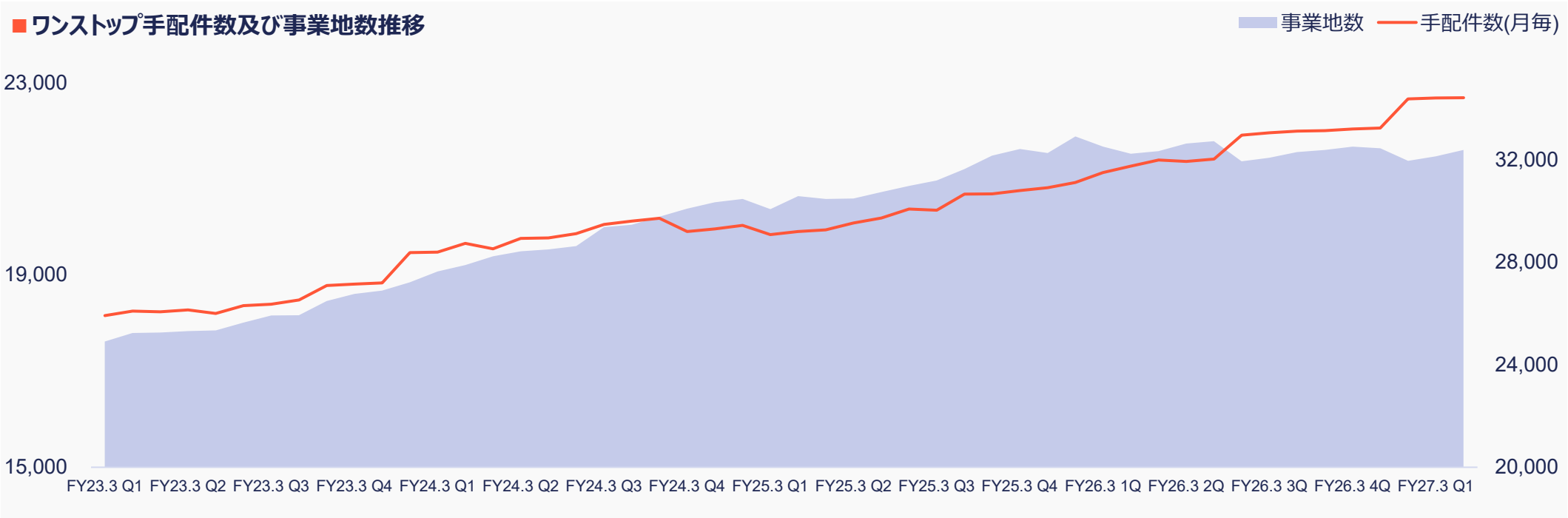
手配件数

103,190 件

YoY

9.2%

PREMIER Assist パークアシスト	FY24.3	FY25.3	FY26.3	FY27.3 Q1	FY27.3 (計画)
拠点数	11	10	12	13	13
人員数	264	257	278	277	289



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

40th

Prestige International Inc.



株式会社プレステージ・インターナショナルは、2026年10月30日に創業40周年を迎えます。

これもひとえに、長年にわたり当社を支えてくださったお客様、クライアント企業様、そしてすべてのステークホルダーの皆様の温かいご支援の賜物であり、心より深く感謝申し上げます。

創業40周年を迎えるにあたり、記念ロゴを制定するとともに、コーポレートサイトへ特設コンテンツを公開しました。

■ 40周年記念ロゴ

“「プレステージ・インターナショナル」と発話したときのオーディオ・ウェーブフォーム（音声波形）。40年間の歩みを刻む、鮮やかな一筋の「Voice」が、さらなる未来へと続いています。”

■ 40周年テーマ

“Voice for Creation その声は、次の標準を創り出すために”

■ コーポレートサイトに40周年特設コンテンツ

2026年6月に、コーポレートサイトへ40周年特設コンテンツを公開しました。40周年に関する様々な情報を順次発信予定です。

https://www.prestigein.com/company_profile/40th.html

直近のニュースリリース・IRニュース *抜粋

リリース日	タイトル	関連する事業	SDGs
2026.04.20	ナビタイムジャパン、東京海上スマートモビリティ、プレミア・エイドの3社、二輪向け緊急通報サービスの社会実装に向けた連携を開始		  
2026.05.11	2026年版「女性が活躍する会社 BEST100」に選出 (『日経ウーマン』6月号掲載)		  
2026.05.13	株主優待制度の再導入に関するお知らせ		
2026.05.13	従業員持株会の奨励金付与率引き上げに関するお知らせ		 
2026.06.25	創業40周年を記念するロゴおよび特設コンテンツを公開		 

ニュースリリースは[こちら](https://www.prestigein.com/whats/)からご覧いただけます▶▶▶
(<https://www.prestigein.com/whats/>)



本資料の取り扱いについて

本資料は当社をご理解いただくための情報提供を目的としており、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に含まれる将来の予想に関する記述等につきましては、現時点における目標や予測に基づき判断したものであり、確約や保証を与えるものではありません。

将来における当社の業績の数値、結果、パフォーマンス等は、現時点における将来の予想と異なる結果となる可能性がある点をご確認の上、ご利用ください。

本資料に記載された将来の事項は、経済情勢及び市場環境や当社グループの関連する業界動向の変化、その他内部・外部要因等により予告なく変更することがあります。

IRニュース配信サービス

プレスステージ・インターナショナルの最新情報やニュースリリースなどを、
ご登録いただいた皆様に電子メールにてお知らせするサービスです。
この機会にぜひご登録ください。

ご登録はこちらから▼

IRニュース配信サービス登録

二次元コードからのご登録いただけます▼





PRESTIGE INTERNATIONAL